

なかさと

かよく しこく わやかに もに輝く

学校だより 第8号



一関市立中里小学校
令和元年 6月23日

6/17(水)・18(木)・19(金) 授業参観・学年懇談会



新型コロナウイルス感染症の対応のため、実施できずにおりました授業参観と学年懇談会を2か月遅れで実施いたしました。

4月以来、いつもと違う状況がいろいろある中で、前向きに落ち着いて学校生活を送ってきた子どもたちです。学習の様子を家の人に参観してもらうのをとても楽しみにしていました。

非常事態宣言が解除となったものの、これまでのように三密を避けなければならない状況でしたので、三日間で低・中・高と学団を分け、

図工家庭科室も使用して授業を実施し、お出でいただく保護者の皆様には、事前の体調確認にもご協力いただきました。いつも以上に受付に配慮を要する部分がありましたので、学年PTAの役員の皆様には、受付や駐車場係等を担当していただき、スムーズに参観していただくことができました。

日程の調整が大変な中だったと思いますが、学年懇談会にも沢山の皆様にご参加いただきました。今年度の各学年経営についてご確認いただくとともに、学年PTAの事業についてご協議いただくことができました。学年PTA役員の皆様はじめ、保護者の皆様のご協力により、今回の参観日を実施することができました。本当にありがとうございました。

学年懇談会に先立って、今年度の学校経営について説明の時間を頂戴しましたが、放送を通しての一方的な話になってしまいましたので、「まなびフェスト・そだてフェスト」に関わる取組について、気になる点等ありましたら、お気軽にお問い合わせください。今年度も、本校の教育活動に、ご理解とご協力をお願いいたします。



1年：国語



2年：図工



3年：算数



4年：図工



5年：家庭



6A：理科



国語・算数

なのほな



ひまわり：国語



6B：算数

6/16 (火)

プール開き



めあてに向かって鍛えよう!

プール使用上の注意



「かぶとむし」の約束

暑い中実施したプール清掃の頃から、泳ぐ気満々だった子どもたち。きれいになったプールに入った水は、量も水温も丁度良くなり、17日に6年生から入り始めました。

今年度のプール開きは、放送で行い、自分のめあてに向かってプール学習をがんばること、安全に気を付けて学習することを全体で確かめました。右記のようなプール使用の約束も***先生が放送で伝えましたが、1年生は教室でかぶとむしの表示を見ながら確認しました。その後、児童会長の***さんから、安全で楽しく水泳学習するための「誓いの言葉」を聞いて、子どもたちは、プール学習に向けて意欲を高めました。

短いプールシーズンですし、今年度は感染症への配慮事項もあれこれあり、実際に水に浸れる時間が短くなりそうで心配していますが、陸上ではできない運動でしっかり体を鍛えていきたいと思います。プールのめあては、学年ごとの目標に沿って個々に設定しています。ご家庭でもお子様がどんなめあてにしたのか聞いて見ながら、応援をお願いします。

とても楽しいプール学習ですが、活動の仕方を誤ると命を失う危険な活動にもなりかねません。「かぶとむし」の約束を守って体を鍛えましょう。

- * プールサイドでは🚫けません
- * プールでは🚫ざげません
- * 🚫びこみはしません
- * 🚫りはしません
- * 🗣️っかり話を聞きます

6/21 (日)

中里地区防災訓練

地域とともに ぞなえます!



防災そばっし号

大揺れの体験

中里まちづくり協議会主催による防災訓練が、中里市民センターを主会場に開催されました。

今年度は、家庭毎に、中里地区内に設けていただいたチェックポイントをウォークラリーで巡りながら、中里市民センター



防災ウォークラリー

チェックポイントを探して...

(10・11区は10区集会所)に避難(集合)しました。

家の人と一緒に、非常時に必要なものを点検して、非常持出袋を準備したり、ウォークラリーでチェックポイントを探しつつ危険個所を確認したり、「防災クイズ」にチャレンジして非常時の行動を確認したりしながら、危機意識を高めました。早めに家を出て、該当地区外のポイントまで歩いて回り、中里地区内の状況を、家族と一緒に楽しそうに探検していた子どもたちがたくさんいました。

市民センターでは、起震車「防災そばっし号」で、震度7までの大きな揺れを体験しました。本当の地震ではなかったのですが、楽しそうに乗っている子どももありましたが、実際に震度7ほどの揺れが起こったら、何もできそうもないことは、体感できたようです。

入梅以降、西日本では梅雨前線とは思えないような降り方で大雨が続いています。豪雨や台風が、こちらの方まで北上してくることもあるかと思うと、不安が募ります。いざという時迷わず行動できるよう、今回のように地域の方々と共に訓練し、備えることができるのは、とても心強いことです。学校でも児童の防災意識をさらに高めるよう、働きかけて参ります。



水害の様子を聞いて...



非常持出袋の中身を確認...